観光振興で地域活性

来て！見て！魅力いっぱい

森林文化都市 沼田（群馬県）

群馬県北部に位置する沼田市（人口約5万2千人）。赤城山や武尊山など日本百名山に挙げられる山々に囲まれた、自然豊かな町だ。東洋のナイアガラともいわれる国指定の天然記念物「吹割の滝」など魅力的な観光資源も数多い沼田の魅力を紹介する。

写真左上から（時計回りで）大蛇まつり、吹割の滝、ふるさとキラキラフェスティバルのイベント会場、えだまメンチ、たんばらラベンダーパーク、沼田まつり

主な観光スポット

大蛇まつり

老神温泉の開祖といわれる大蛇をみこしに仕立て、温泉街を練り歩く祭り。毎年5月第2金、土曜日に開催。大蛇みこし（全長108㍍）は12年に一度の巳年に登場。今年、「最も長い祭り用のヘビ」としてギネスの世界記録に認定された。

吹割の滝

高さ7㍍、幅30㍍におよび、急流が川底の割れ目にゴウゴウと音を立てて落下する瀑布は迫力があり、「東洋のナイアガラ」ともいわれている。遊歩道も整備され、渓谷美を堪能できる。新緑や紅葉の頃が特にお勧め。

ふるさとキラキラフェスティバル

正式名称は「花と緑のぐんまづくり2014in沼田」で、市政施行60周年を記念した花と緑のイベント。沼田公園や市の中心市街地をメーン会場に、来年4月19日～5月18日に開催される。

えだまメンチ

B級グルメ研究会と地元の利根実業高校の力作。特産品である枝豆入りのメンチカツ。給食提供などを含めたイベントなどでの販売数は12年度で約1万5千個。今年4月には商標登録され、市内約10店舗で提供。

沼田まつり

「まんど」と呼ばれる10台の山車や各町内のみこしが街を練り歩く、熱気あふれる祭り。女性だけで担がれる「天狗みこし」が華を添える。8月3～5日に開催される。

たんばらラベンダーパーク

冬はスキー場として人気のたんばらスキーパーク。夏にはラベンダーが満開になる。見頃は7月中旬～8月中旬で、ピーク時には約5万株のラベンダーが咲き誇るさまは圧巻。

■主な年間イベント■

4月	花と緑のぐんまづくり2014in沼田、吹割の滝開き
5月	老神温泉大蛇まつり
6月	観光さくらんぼ園オープン
7月	たんばらラベンダーパークオープン、たんばら高原星空観察会（～11月）
8月	沼田まつり、とねふるさと風のまつり、観光ぶどう園オープン
9月	観光りんご園オープン、沼田花火大会、老神温泉そば祭り、白沢高原りんご＆ぶどうまつり
10月	沼田市秋の大感謝祭オータムフェスタ
11月	戦国ストリートin沼田＆真田ゆかりの旨いもの合戦
12月	たんばらスキーパークオープン
1月	老神温泉雪ほたる
2月	老神温泉節分祭

※問い合わせ＝観光交流課（☎0278・23・2111）

特別インタビュー

沼田の観光振興施策

星野已喜雄市長に聞く

――沼田市政における観光の位置付けは。

「市の産業は第1次産業が中心だが、近年は豊かな自然、食、歴史を生かすべく観光振興にも力を入れている。観光客の増加による地域活性化は極めて重要であり、今や市政の大きな柱となっている」

――市の主な観光名所を挙げて下さい。

「玉原高原は、冬は一大スキーリゾート地であり、夏は紫のラベンダーが一面を敷き詰める風光明媚な土地だ。吹割の滝は国指定の天然記念物で『東洋のナイアガラ』と言われ、その迫力は見る人に感動を与える。老神温泉は片品渓谷沿いに老舗旅館やホテルが点在し、豊富な湯量はもちろん、紅葉や新緑の景色も美しい」

――老神温泉といえば毎年5月に行われる大蛇まつりですね。

「12年に一度、大蛇みこしが登場する。長さは約108㍍に達し、今年5月には祭り用ヘビとしてギネスに認定された。郷土の誇りだ。そのほか、観光フルーツ園、沼田公園を中心とした沼田城址などがある。忘れてならないのが日本一の大天狗を祭るお寺で、天狗の霊峰とも呼ばれている迦葉山弥勒寺。8月上旬に行われる沼田まつりではその天狗面を女性が担ぐ天狗みこしが有名だ」

観光は市政の柱
椎坂トンネル開通に期待
外部の力で活力を

――観光客はどこから来ていますか。

「埼玉、東京、千葉、神奈川が多い。北関東自動車道開通による、茨城方面からの入り込み増も期待したいところだ。比較的中高年層が多く、満足度を高めるために、もてなしの向上や体験メニューの充実を図り、ファン化、リピーターにつなげていきたい。また、真田の城下町という歴史を生かして、若者、女性層を視野に入れた取り組みも考えていく」

――椎坂トンネルの開通も観光客増に寄与しそうです。

「今年11月22日に国道120号の椎坂トンネルが開通し、利根片品方面へのアクセスが積雪時で18分ほど短縮される。これを機に利根沼田方面への観光客の増加を図るため、老神温泉でも冬のライトアップなどさまざまな企画を計画している」

――観光振興のため、横浜商科大や日本旅行写真家協会（旅写）と連携しましたが、成果は。

「横浜商科大については4月から4回、計15日間の来訪があり、延べ約180人が活動した。また、若い感性による提案を期待している。人通りの少ない老神温泉や市内での学生の活動は目立つ存在で、市民にいい刺激を与えているようだ」

「旅写については、会員による宿泊、日帰りの撮影旅行が数回行われている。直接的な経済効果も大きいが、どのような沼田を切り取ってもらえるか、また新しい魅力の発見の可能性についても大変楽しみにしている。今後写真展も予定しており、旅写の発信力に期待している。4月26日には新たにJAFと包括協定を結んだ。観光だけでなく防災なども含めて連携をより強化したい」

――観光関係者にはどんなことを期待しますか。

「観光地の衰退は一経営者や一企業の問題に見えがちだが、地域が一つとなって対応していかなければ再生の道は開けないと考えるので、団体・事業者間の連携した、積極的な取り組みを望みたい。観光需要は短期間に変遷しやすい。成果が確認できるまでは時間を要するので、産業として地域に根付かせるには『観光客が来なくても、地域にとって価値があれば良し』という思い切った考え方で活動を継続してほしい」

沼田観光への期待

柴田悟一　横浜商科大学学長

平成25年2月19日に、私ども横浜商科大学と沼田市とは、観光振興に関わる諸問題の調査研究・提言等について連携することとなりました。この連携は沼田市、そして私どもに大きなメリットとなることを確信しております。

沼田市には数多くの観光資源が存在します。城下町としての歴史文化、緑あふれる山と高原、温泉、神社、そして豊かな農産物等々と、人々を引きつける素材は豊富です。改めてこれらの資源をどう組み合わせ・加工し、他との比較優位性を作り出すか、そしてそれをどう発信するかが重要であります。

一方で、私ども大学は、観光に関する科目を設定し、教育・研究を行ってきており、さらに今後、地域開発、町おこしといった分野での教育・研究を充実させる予定にしております。こういった中で、豊富な観光資源を持つ沼田市をフィールドワーク拠点とできますことは、本学にとり大きなメリットです。

観光振興で連携
大学にもメリット
着実な成果が

2月の協定書締結以降、既に次のような成果が出ております。

①教員・学生による老神温泉および市街部の現地調査に基づく課題の抽出と今後の方向性の提言②沼田市をケースに「観光振興システム開発・研究」に取り組んでいる富士通グループ開催の市民ワークショップへの参加③教員・学生による老神温泉イベントへの参加④観光関連事業所での学生のインターンシップの実施―。

以上に加え、来訪観光客に対する「観光利用実態把握アンケート調査」を9月の連休時に実施しました。

地域にとって観光は重要な産業です。そのための観光戦略策定と実行に私ども大学も関わらせていただければと思っております。

山口勝廣　日本旅行写真家協会会長

本年4月、日本旅行写真家協会は、沼田市と写真を基軸とした観光振興事業を目的に協定を結びました。自然や観光資源を活用した写真教室やフォトコンテストを開催、その作品による写真展、観光PRなどを展開、首都圏と沼田市の交流を深め相互の発展や文化の浸透を図ります。

沼田市は、日本有数のブナ林を誇る玉原高原、利根川や片品川の流れ等自然に恵まれた地域環境にあり、歴史的には、真田昌幸・信之ゆかりの城下町として、地形的には河岸段丘の上に形成された町でもあります。

首都圏から2時間の至近距離にあって、一般的に知られていない沼田の魅力を、写真家の視点から再構築、幅広い情報を発信します。

4月に協定締結
写真家視点で情報発信
来春にフォトコン開催

協定締結後、4本の撮影会・写真教室ツアーを実施、また、「老神温泉大蛇まつり」「沼田まつり」を取材、会報「HOTLINE」で紹介しています。

これらをフォトコンテストへと導き、2014年3月26日から東京・銀座の「ぐんまちゃん家」で写真展として広く社会に公開します。

年次企画「沼田写真シンポジウム」の展開を目指し、自然環境の中で宿泊、写真研修会・シンポジウムを開催、その参加のための写真ツアー・写真教室を併設、年間事業として定着を図り、沼田市の大きな飛躍にしたいものです。

「森林文化都市」沼田市のシンボリックな姿とするために。

沼田の観光を推進します。

Face to Face
今までも、これからも、地元とともに…
“とねしん”はあなたの街のパートナー
㈱利根郡信用金庫

沼田市観光協会
会長 平井 良明
〒378－8501 群馬県沼田市西倉内町780（沼田市観光交流課内）
TEL 0278－23－2111
FAX 0278－24－5179

沼田市物産振興協会
会長 小野 幸広
〒378－8501 群馬県沼田市西倉内町780（沼田市観光交流課内）
TEL 0278－23－2111
FAX 0278－24－5179

利根町観光協会
会長 小尾 孝男
〒378－0322 群馬県沼田市利根町老神607－1
TEL 0278－20－5050

老神温泉観光協会
協会長 金子 充
〒378－0322 群馬県沼田市利根町老神607－1 事務局
TEL0278－56－3013（代）
FAX0278－56－3014
会社 仙郷 TEL0278－56－2601

吹割の滝観光協会
会長 永井 一平
〒378－0303 群馬県沼田市利根町追貝975
TEL 0278－56－3586

観光農園 有限会社果実庭
代表取締役 桑原 裕和
〒378－0002 群馬県沼田市横塚町162
TEL 0278－24－1322
FAX 0278－24－1610

利根果樹部会
会長 星野 健一
〒378－0321 群馬県沼田市利根町高戸谷483
TEL 0278－56－2355

株式会社白沢振興公社
代表取締役 諸田 勇
〒378－0125 群馬県沼田市白沢町平出1297
TEL 0278－53－3939
http://www.boukyou.com

HOTEL BELLA VITA
ベラヴィータ株式会社
代表 平井 良明
〒378－0045 群馬県沼田市材木町178－1
TEL 0278－60－1000
FAX 0278－60－1001
http://www.jrs-w.com